
魔法少女リリカルなのは&仮面ライダーの戦士達&ポケモン

菅原 冴茶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは&仮面ライダーの戦士達&ポケモン

【Nコード】

N66870

【作者名】

菅原 冴茶

【あらすじ】

Wの世界は、平和だった。

しかし、今日から悪夢の始まりだった。

突然、隕石が落ちてきて、その中には、全仮面ライダーの敵が乗っていたのである。その中には、リリカルなのはの世界の敵もいたのだ。

まずは、誤解をし、戦うはめになった、アルセウスとの戦い
次は、全仮面ライダーの敵との戦いだった。

隕石を止めた、アルセウス（前書き）

作『新しい作品なので、100話目指して頑張りたいと思います』

隕石を止めた、アルセウス

wの戦士は、一人目、上神リコ 二人目、松下 かりん 三
人目、長野 みさと

四人目、花園 きぼうであった。

ある午後……

リコ『あつあれば、巨大隕石！！！！』

かりん 『巨大隕石と一緒にアルセウスがいる！！！！隕石を必死
で止めようとしているわ』

きぼう 『巨大隕石がばらばらになってしまった。』

アルセウスは隕石を止め、巨大隕石は世界中の各地へと散らばっ
ていった。

アルセウスは、巨大隕石をとめた結果、数キロ先に落ちて言った
のであった。

リコ 『早く行かないとアルセウスが死んでしまうかもしれない。
だから変身して行きましょう』

みさと『うん』

きぼう『変身』

みさと『変身』

<サイクロン・ジョーカー>

リコ・かりん『変身』

<サイクロン・ジョーカー>

WS『バイク何処だっけ?』WS=きぼつ&みさと

WM『あそこの駐車場だよ!!!』WM=リコ・かりん

WS・WM『じゃあ、レッツゴー』

このWの戦士達は、いずれアルセウスの誤解を招き、戦う事は、
この時誰も知るよしもなかった。!!!

~~~~アルセウス~~~~

ポケモンたち『くううう』

アルセウス『・・・』

ポケモンたち『うーんくうーん』

WS『アルセウス、大丈夫?』

WM『超克せいよ、時空のさだめよ』

WS『?????』

WM 『アルセウス、あれね!!!分かったわ!あれを取ってくれば生き返るのね?』

WS 『聞いたことあるよ!!!きぼつ!!!あれで、調べてみて!!!』

あれとは、仮面ライダーWで、フィリップが扱っていた、地球の本棚!!!です

かりん 『えつと、あの石みたいな、ガラスみたいなものは、いろいろなタイプの技を使いこなせる。使いこなせるのは、アルセウスのみだ』

WM 『それは、知っているけれど』

WM 『アルセウス、これを体の中に取り込んで』

アルセウス 『くっくっくっくっく』

アルセウスは、この水タイプの、石版?ガラス版?の奴をとりこんだ

そして、水タイプを取り込んだことによって全部のタイプの奴を取り込んだ

アルセウスは、取り込んだことによって、元気になった

WS 『YES!!!!!!』

WM 『YES!!!よかった』

アルセウス 『そなた達は誰だ、このポケモンたちをいじめに来たのか、』

ポケモンたち 『違います』

ちよつと、通訳しています。dy作者

アルセウス 『嘘だ、今助けてくれたのは、ポケモンたちだったんだから』

『お礼をしなくちゃいけないな』

WM 『帰りましょう』

アルセウス 『逃げるつもりか』

WS 『そんな、逃げるわけじゃなくて、家に帰るだけなんです』

アルセウス 『これ以上、ポケモンたちをいじめる事は私が許さない』

ポケモンたち 『それは違うんです、アルセウス様、この人たちこそ、アルセウス様を救ってくださった、恩人なんです』

WM 『一応、助けましたけど』

WS 『私が、助けました。これ以上つまらない揉め事はやめてください』

アルセウス『『つまらない』だと？私にとっては重要な事なんだ  
！！！！！』』

ポケモンたち『もうやめてください』

アルセウス『許せる相手ではない、』

WS『あなたがその気なら、相手をしてあげましょう』

WM『そんな、挑発するみたいな事やめなよ』

ポケモンたち『あの・・・私達は、あなた達の見方をします。アルセウス様を目覚めさせるためにも協力させてください』

二人『はい、分かりました。私達は、誤解を解くために、戦います』

こうして、アルセウスVS仮面ライダー&ポケモンたちの戦いが  
始まりました

あつ、リリカルなのはは、この魔法少女リリカルなのは&仮面ライダーの戦士達&ポケモンの後のほうで出てきます。

すみません。



隕石を止めた、アルセウス（後書き）

作『読んでくれてありがとうございます。これからも、読んで  
ください』

伝説のポケモン来たり！！！！（前書き）

作 『よろしくお願いします』

伝説のポケモン来たり!!!

WS『どうしようね、じゃあ、攻撃しようか』

WM『ちよつと待って、作戦を立てなきゃ、それに、ポケモン達にも協力してもらい、伝説のポケモン達を呼んでもらわなきゃいけないし』

WS『呼べるじゃん、あなた達の『超克せい何とかかんとか』って言うので呼ばいいんじゃない?』

WM『忘れてた。かりんの能力があるじゃない』

ポケモン『いま、アルセウス様は、あなた方のお薬で眠られております、で、次は何をすればいいんですか?』

WM『大丈夫!!! 伝説のポケモンたちを全員呼ばいいのです』

ポケモン『誰ですか?』

WM『ルカリオ、セレビィ、グラードン、デオキシス、ディアルガ、パルキア、ダークライ、ギラティナ、エンテイ、スイクン、ライコウ、レックウザ、ジラーチ、ミュウ、ミュウツー、ラティオス、ラティオス、サンダー、フリーザ、ファイヤー、マナフィ、レジギガス、レジアイス、レジスチル、レジロック、ホウオウ、グラードン、ルギア、ユクシー、などなど・・・』

WM『もう、めんどくさいので、この中から、選んで呼びましょ

う、  
』

ポケモンたち』あつそうだ、ライコウさんなら、あそこの岩山に住んでいるので、呼んで着ましようか、？  
』

WS 』お願いします。  
』

WM 』超克せいよ時空のさだめよ、』ルカリオ、デオキシス、  
ディアルガ、パルキア、ダークライ、ギラティナ、エンテイ、スイ  
クン、』来てください』

数分後・・・

ポケモンたち』ライコウさんと呼んできました、それに、ディアルガさま、が海にいらっしやいます』

WS 』行こう、海へ』

WM 』うん  
』

海・・・

ディアルガ 』・・・  
』

WM 』ディアルガ、早く来てください、アルセウスが起きてしま  
います』

ディアルガ『うん、行こう！！！！、パルキアとポケモンたちは、今頃、岩場に到着している頃だ』

岩場・・・

パルキア『アルセウスはあそこで眠っている』

ルカリオ『波動で読むと、何か、人間の人たちに誤解をして、戦う事になったらしい』

パルキア『そうだったんだ』

『ディアルガを待とう』

ルカリオ『アルセウスが、あと、50分で起きてしまいます』

パルキア『それまでには、ディアルガも着くだろう』

ルカリオ『分かりました。』

20分後・・・

WS『パルキア達は？』

WM『岩場に隠れている』

ディアルガ『行ってみよう』

『乗りなさい』

WS <はい>

岩場・・・

パルキア『ディアルガが来る、Wも一緒に』

ディアルガ『待たしたな』

ルカリオ『あまり、まっでは居ません、ディアルガ様』

WM『みなさん、突然、呼び出してすいません、アルセウスを目を覚ませるために、協力してください』

ポケモン達『いいですよ、アルセウス様のためなら、何でもやります』

WS『ありがとう、これから、戦いがあるのだから、今日はゆっくりと休んでください』>

伝説のポケモン来たり!!! (後書き)

作 <ありがとうございました。>

戦い……

WS 『みなさん、起きましたか？』

ディアルガ 『はい、起きました、アルセウス様も後、1分で起きるでしょう』

WM 『分かりました……』

10分後……

アルセウス 『あれ？、ここは、あっそうだった、Wがポケモンたちをいじめたから、守らなければ……』

ディアルガ 『アルセウス様……あの、ポケモン達は、無事です、私が、倒しておきました……』

アルセウス 『ありがとう、私は、帰る、』

WM 『ちょっと待って、私は、生きている、ポケモン達おいで！』

WS 『うん、怖がらなくてもいいからおいで……』

ポケモンたち 『あの、アルセウス様……あの、この人たちに、助けてもらったんです』

アルセウス 『それは、本当か？』



ポケモンたち『はい』

.....

アルセウス『分かった、じゃあ、Wに今まではすまなかった、誤解をしていたみたいだ、変わりにはないが・・・君達が呼ぶときは、私は、必ず来る・・・』

WS『ありがとう』

WM『合図は、一発、仮面ライダーの技で、あなたの世界に、打ち込むのが合図です』

アルセウス『分かった・・・よろしく頼むぞ、ポケモンの事も、この世界を守ってくれ・・・』

WM『分かりました。』

.....

アルセウス『ではっ！！またな』

WS『はい！！.....また、会いましょう』

仮面ライダー、Wの敵参上！！！！！（前書き）

作『ドーパント、参上！！！！』

かりん『好きなんだな、仮面ライダーW』

作『はい、では、第4話始まります』

仮面ライダー、Wの敵参上!!!!!!

一人目、上神リコ　二人目、松下　かりん　三人目、長野  
みさと

四人目、花園　きぼうであった

きぼう『そろそろ、隕石から、敵たちが下りてきても良いというのに、なぜ、降りてこないのかな??警戒しているのかな??』

リコ『そんなの、ありえるわけがないでしょ、』

みさと『だけど、もしもの事が、あつたら』

本当の事だったら、どうしよう.....

プシュー、ドアが開いた

かりん『なんか、ドアが、開いたよ』

ドーパント『うきやきやきやきや』

変なの、出てきたよ

きぼう『変身』

みさと『変身』

<サイクロン・ジョーカー>

リコ・かりん『変身』

<サイクロン・ジョーカー>

WS『バイク何処だっけ?』WS『きぼつ&みさと』

WM『あそこの駐車場だよ!!!』WM『リコ・かりん』

WS『行こう!!!』WM『』

WM『分かった、WS、早く戦わなければ、民間人にも、被害が及ぶかもしれない』

やるっきゃない

敵『うきやうきやうきや』

WS『<ジョーカー・エクストリーム>』

WM『こつちもよ、<ジョーカー・エクストリーム>』

敵『さあ、大変、うきやきやきやきやきやきやきやきや』

蹴る、殴るの、連発×99

敵、死亡・原因、暴行されたから

WS 『敵は、まだ居るかもしれない、から、まだ警戒しないとね』

WM 『うんうん』

Wの世界は、驚きがいっぱい！（前書き）

作『皆さん、ハロ〜です……。この頃、仮面ライダーの執筆  
中小説を4話書いていましたので、すみません 投稿遅れました・  
・では、『魔法少女リリカルなのは』第5話始まります』

Wの世界は、驚きがいっぱい！

WS 『まだ、被害は出ていないみたいだからってうぎゃ〜リスに化けた怪物！！！』

．．．．．それは、シマリスだよ

WM 『だから、それ違うんだって！！！！！！！！シマリスだって言っただでしょ！！』

?????言っただけ???????

WS 『うぎゃ〜！！！！こいつは、キバツトバツト10世?』

キバツトバツトって、3世じゃなかったけ???????

WM 『キバツトは3世だよ、もう！！！！』

WS 『そうだっけ?????』

そうですね、そうですね

WS 『今日の私達の世界は、驚きがいっぱいだよね』

WM 『あなたが、驚くからだよ』

まあ、そっか

WM 『そろそろ、敵が来ると思っただよね』

WS 『前も、この時間帯だったもんね』

・・・WM！計算しているな

WS 『計算しすぎでしょ！！だって、あの時計ないじゃん、今日はあるけど』

WM 『来ようとして家を出るときに見て、それに、移動時間を足したり引いたりすると、この時間になってしまっただよ』

凄い、WMの2人、どちらとも、天才だ

プシュー

！？

敵 『今回は、響鬼の世界の敵だぜ』

あれ???前の敵喋れなかったんじゃないのかいな?????

(かりん) 『あほ馬鹿!!!!!!』

敵 『なんか、ひどい事言ってるぞ!!!!!!』



分かるの??通じるの???

敵『恐怖ある???.?.?.?.?.?.?.?.?』

WS『無いし〜』

今回は強い敵・・・・・・・・・・（前書き）

作『みなさま、読んでいただきありがとうございます』

WM『・・・・・・・・・・あほ』

WS『ばか』

作『ひつどく、でも、まあいつか、そんな事は、水に流してく、  
では、魔法少女リリカルなのは&仮面ライダーの戦士達&ポケモン  
第6話目始めたいと思います』

今回は強い敵・・・・・・・・

敵『参上なり、・・・・・・・・・・・・・・？？』

ドヨン

WM『だってさ、なんで、こんな変な敵が居るのが分からない』

WS『でも、それはそれで、いいんじゃないの？？やっぱ、変な敵だよな』

俺も、納得でも、変な敵って一体ドコだ？

きよるきよる

WM『おいその、きよるきよるしている奴、一応言っておくが、  
『変な敵』ってお前の事言っているんだけど・・・・・・・・  
・・・・・・・・分からない？？この状況で・・・・・・・・ってか、い  
まお前しか敵いないし』

か

敵『恥かしい、こんな注目してもらっているよ、！！！！』

何か、勘違いしているな、絶対に・・・・・・・・

WS『あのさ、あんたって、アホ？？馬鹿？？変態？？？  
どれ？？？』

直球的な質問だな　まあいつか

敵『ぶりっこです』

あちやゝ

WM『行くかゝ、<ジョーカー・エクストリーム>』

ドッカーン

WS『こつちも<ジョーカー・エクストリーム>』

ドッシーン

敵『痛いよもゝ』

あへ????普通の敵は、これで、死ぬはずなんだけど

WM『必殺技出すのめんどーだから、いっちょ、私の凄腕みせてやる』

<変身解除>　　<変身解除>

リコ『ねえ、敵さん、私たちの降参だよ、だから、私の作る料理を食べて、許してね』



リコ』お帰りは、あちらです』

ドタドタドタドタドタドタ

一件落着!!!

登場人物の紹介なのだ！！

上神 リコ

生年月日 4月5日

星座 おひつじ座

身長 147cm

体重 絶対言わないし

血液型 〃 O型

特徴

4人の中では、1番背が小さいが、1番運動神経抜群！！！！！！

料理が得意で、（特に、激辛料理が）みんなの、食事も作っている

松下 かりん

生年月日 5月6日

星座 おうし座

身長 156cm

体重 30きろ前後

血液型Ⅱ A型

特徴

4人の中で、1番、頭がよくて お花が大好き

得意な事は、歌で、このあいだカラオケで、10曲歌ったら全部100点だったという実力！

長野 みさと

生年月日 9月5日

星座 おとめ座

身長155cm

体重 だって、女の子に聞くほうが駄目だよ

血液型Ⅱ AB型

特徴

4人の中では、平和的で、争いは、あまり好きではない、でも、変身した時は、1番強い

得意な事は、音楽で、いつつもかりんが歌うので、その伴奏など



をしている

！花園 きぼう

！生年月日 10月30日

！星座 さそり座

！身長 162cm

！体重 40キロ前後

！血液型 〃O型

！特徴

運動神経は、まったくだめだけど、仮面ライダーになると、運動神経がよくなる

得意な事は、パソコンのキーワードを打つのが、得意

これからも、この4人（2人の戦士）をよろしくお願いします！

！！！！！！

大混乱では、ないです

リコ『あのさ〜、今日なんか嫌な予感がするんだけど、私、気のせいだとは思えないんだよね』

.....

リコのは、100言ったとしたら、99かいあたるからな

めんどくさい

みさと『そう?でも、嫌な予感って何かが来るとか???』

リコ『あたり!!!多分、ポケモンたちが大混乱を起こすと思うんだ』

.....

そんな事、つてあるのか???

いやのことだ

かりん『あのさ〜、でも、嫌な予感がするんだったら、リコは自分の事、信じているんでしょ!!!...!』

リコ『し〜し〜ん〜ん』

.....

かりん『自分の事も、信じられないのかい！……！……！、でも、  
まあ、信じられないのも、分かるかもしれないな……』

私達には、わからないわ……

ちょっと、理解不能だな……

## 本当に大混乱

リコ『やっぱ、ポケモンが来た』

マジだ何万匹だ??

その中にも、敵が混ざってるし

みさと『やばいよ!...!とめなきゃ!...!変身するよ』

YES

<サイクロン・ジョーカー>

<サイクロン・ジョーカー>

WS『お久しぶりのこの姿だな』

WM『いいから、とめるよ』

分かっていきます

<ルナ・ジョーカー>

WS『何変えているの??』

ルナ知らないの??

WM『ルナは、手などが伸びて便利なのよ』

•  
•  
•

WS 『知らなかった』

WM 『魚~~~~~』

てをのばしている

びよーん

ポケモンたち『助けて!!!あっちに、暴れている、敵がいるんだ!!!』

マジかよ

MS 『行くっ!』

YES

ドーパント！参上！！

WM『行くよ！！！！バイクに、乗って』

WS『バイクはどこだっけ』

.....

WM『そんなこと知らないから！！！！自分たちで、思い出してよ！！！！敵が、暴れているのに、もたもたしない』

はい！！！！

WS『えつと、このバイクだ！！』

ガチャ

ブロンブロン.....

敵が暴れているところに来た.....

WM『何で、ドーパント？前わたしたちが、この世界の敵全部倒したんじゃないの????どうしているの?』

それを、聞いても答えないと思いますが

キーワードは.....

ってか、もう検索しているし

『キーワードは、ドーパント』

！？

『キーワードは、倒した』

！？

『最後のキーワードは、2ヶ月まえ』

！？

『ビンゴだよ！！』

MS 『わたしは、どうやらばいいの??』

つてか、戦っている”！！！！

MS 『もう、一気に倒すから！！！！<ジョーカー・エクストリー

△  
『>

！？

なに???

よけられただと????

どうすれば……

『分かったよ！！！、さっきのドーパントは、前に戦っていて、あの小さいドーパント逃がしたでしょ！！！！あのドーパントが、進化したのよ』

．．．．．ああ

あの犬みたいなの．．．．．あれが、なぜ狼みたいなの？

．．  
今日は、逃げられちゃったから、明日捜せばいいか．．．．．



さすがすぞ!!!

WS 『昨日のドーパントを探そうか!!!』

なんと、根拠のない宣言だな・・・

WM 『まあ、いい検索を始めようと思う』

『キーワードは<Wの世界の敵>』

『次のキーワードは<ドーパントの居場所>』

!?!?!?!?!?!?!?!?!

WS 『出ましたか???』

・・・

WM 『多分、その茂みにいるか、私たちの家の近くの茂みにいるか分からないけど、多分いると思うよ』

やっぱり。根拠ないんだ・・・

WS 『では、茂みを探そう』

茂み・・・・・・・・

WS 『居ないね』

WM 『本当に居ないね、じゃあ家の近くの茂みにもいるのか  
な????.?』

!??!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?

WS 『しつぽー………ジュニアズパーズいた』

!??!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?!?

WM 『行くよ………!!戦うしか方法はない』

行くよ……!!

WS 『<ヒート・メタル>』

WM 『<ルナ・トリガー>』

## 蛙の子は蛙

WS 『おりゃあああああ~~~~~』

！？

いつの間に、<ヒート・メタル>になっているの？

私たちは、<ルナ・トリガー>になっているけど

WM 『まあいい！！、ルナの力は、手が、足が伸びることなのだ』

つてか、そんな事知っているし！！！！

WS 『ドーパント！！増えている！！！！』

！？

やだ~~~~つてか、10体に増えてる

親1体、子供9体

WM 『まず、親を片付けるとするか！！』

<トリガーフルバースト>

！？

ドッカーン？

親は、木に登って、攻撃を逃れた

WM 『何故、除けた???』

そんな事誰が知るかよ!!! その親のドーパントしか、知らない事だろうが!!!!!!

WS は、親の後ろにいた・・・

WS 『おりゃああ』

!?

親：死亡  
ドーパント

後方から、銃で、殴られたため

WS 『あとは、子供だけだね!!!』

WM 『それ、当たり前的事でしょ・・・そうじゃなかったら、どうして、親の他に9体ドーパントが居たんだよ』

それもそうか、バカだね~~~~~自分!!

<サイクロン・ジョーカー>

WM 『サイクロンで行くぜ~~~~~』

<ジョーカーエクストリーム>

子供も、親みたいに攻撃を逃れた

!?!?くつそ!?!!

また、WSも、後方に居た

WS『おりよおおおお』

!?

子供3体  
ドーパント

親のように、後方から、殴られて、死亡

WM『ドーパントの子供って、引っかかりやすい!!--これを、こ  
とわざで言つと!!--蛙の子は、蛙!!--』

最後に、『!!--ビックリマーク付けなくても良いんだから

WS『あと、6体だね!!--!!--』

Yes!!--隊長?!!?

隊長つて、誰だ?!!?自分で、思った事なのに!!--分からないや  
!!--!!--

ドーパント6体VS仮面ライダーの戦士です!!--

## ドーパントはバカ

WS 『おりゃあああああああああああああああああああああ  
あああ』

なぜ、そんなに叫ぶ？その意味がさっぱり分からない・・・

ドーパントは、一応いるけど・・・ね？俺にはあつ！！俺じ  
やなくて、私だった、すみません

wm 『ws！うしろ！！分かる？敵いるんだよ！！！行け！！  
リーファイア！！！！はっぱカッター！！』

ってか、いつの間に手持ちポケモンよういしていたんだ？

まあ、敵はドーパントは、はっぱカッターをよけていた

<ルナ・トリガー>wsが、なりました

<ルナ・トリガー>wmがなりました

wm 『必殺技！！』

<トリガーフルバースト>

ドツカーン！！！！！！！！！！

敵1体死亡

原因：必殺技トリガーフルバーストを直接受けて、その威力に耐え切れず、そのまま押しつぶされるようにして、死亡

まだ、1体しか倒していない!!! って、親に似ているな〜って、変な事考えている暇なんかないし!!!

<トリガーフルバースト>

ドツカーン・ボツカーン

WS『あと何体?てきは・・・もう、疲れて駄目かもしれない』

おいおい、もう疲れたのか???それは、ないだろうよ!!!!!!

Wm『決めてやる!』

<サイクロン・ジョーカー>

<ジョーカー・エクストリーム>

ドツカーン

敵3体死亡

原因：ジョーカーエクストリームを直接受けたのと、危機感がなかったのと、余裕すぎたのが、原因だと考えられる

WS『ドーパントは、あと2体っていうことでポケモンたちよろしく!!!リーフィア!よろしく頼むよ!!!!!!』

とって、1分後・・・

リーファイアが、2体ドーパントを倒していた、かなりの、早業だったのであった



## ドーパント1億対仮面ライダーの援軍

休日・・・・・・・・・・

リコ『今日ぐらいは、やすんでもいいよね!』

きぼう『あのね〜〜でも・・・ドーパントしか増えないのね

』!

・・・・・・・・

ドーパントしか繁殖していない・・・今はそれしか分からない・・・

・

かりん『ねえ!!地球の本棚で検索したんだけど!!!ドーパント!!!1億体になんか増えてる!!!』

1億・・・・・・・・1億。。。1億!!!!!!!!1億????  
1億#####

3人『1おく!!!!!!!!!!』

ピクリしすぎだって・・・それだけ分かるのは一体何でか・・・

かりん『他の仮面ライダーに助けてもらおうように要請するしかない!!!行くよ!その間この世界の時間は止まってしまっから大丈夫!』

きぼう『分かった！4人で行こう』

みさと『で、最初ドノ仮面ライダーの世界に行くの?????それ聞いてない気がするんだけど』

.....決めるの忘れてた.....

みさと『電王は？おもしろそうじゃん！！イマジンとか！！！！』

ただの興味本位じゃないかよ！！仲間だけど.....ツツコミしてしまいましたごめんなさい！

電王の世界.....

リコ『ここが電王の世界ね！で、良太郎とかは????やっぱデンライナーに乗っちゃってんのかな？それはそれで面倒なんだよな.....』

めんどくさがりのリコとはこいつの事です.....！！！！！！！！！！

！！！！！！！！！

かりん『じゃあ今2時1分だから2時2分2秒に何でも良いからドア開けば良いんじゃないの？そしたらデンライナーの駅いけると思っけど』

それいつ調べただか.....それだけが不自然のような気がする

2時2分2秒……………

ガチャ……………ドアを開けその中に4人入る

かりん『あたたたじゃん・だからいったんだよ！！！！で、デメンラ  
イナーはどこ？？？？』

## 時をかける列車デンライナー

リコー一応、デンライナーの駅には来たけど……？いつデンライナーが現れるか分からないよね……」

かりん「多分、あお20秒ごにくる予定だけど……」

その20秒後……

本当に、デンライナーがやってきてしまった。

かりんの予測はあたってしまったのだ……まあ、地球の本棚をもっているだけのことはあると思うけれど……

みさと「乗車券無いけどどうするの!？」

一生懸命考える4人しかし、いい案が浮かばない……皆頭が悪いからなのかそういう意味ではないということなのか……

ナオミ「乗車券は、今売れきれなので、乗車okです。」

悩まなくても、簡単には入れてしまったのであった……

何でこうなるのかと自問自答している4人組の1名

きぼう「……」

きぼうは、まったく何もしゃべろうとはしないだが、話の内容は分かっている様子だ

モモタロス「いらっしやい」

赤い、怪人が言った・・・ちよつと失礼なことだがな

ウラタロス「先輩！もうちよと漢字よく言ったらどうなんです！？」

キンタロス「ウラ、感じの字間違えとるで・・・」

そう普通に、突っ込みをいれ訂正させるくまこときんちゃん

結構かわいいんだけど・・・見た目がね・・・怖いんだよね・・・

4人は、ナオミにコーヒーを入れてもらい、良太郎としゃべった。

4人を乗せたデンライナーは、時を越えていた・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6687o/>

---

魔法少女リリカルなのは&仮面ライダーの戦士達&ポケモン

2011年10月7日23時43分発行